

# 鳥獣保護管理プランナー

宇野 壮春

対象鳥獣  
二ホンジカ

活動地域  
青森県

合同会社東北野生動物保護管理センター

《宮城県第001号認定鳥獣捕獲等事業者》

事業内容

青森県二ホンジカ生息状況モニタリング調査

事業の背景

近年東北地方では二ホンジカが分布を回復させ、本州最北の青森県でも県南地域を中心に目撃情報が多発している。明治期以前には生息していたという記録があるものの、現在に馴染みのない動物に対する本県における危機感は強い。特に西日本等では高密度状態になり多大な植生被害が頻発しており、その状態になる以前の初動対策の重要性が指摘されている。

依頼を受けて実施した内容

分布情報を可視化するために、既存情報の整理を行った。そして、特に情報の多い場所を中心に糞塊密度調査を実施し、前年度調査結果との比較を実施した。また、ライトセンサス調査により繁殖集団であるメス個体がどのくらい進出しているかの把握を適宜実施した。これらから、次年度以降のモニタリング実施項目や個体数推定手法についての助言を行った。

分布回復地域における取組は全国をみてもほとんど事例がない。そのため、本県における目標設定から効果測定までの手法を模索する必要があると考えられる。ただし、基本的な考え方については恒常的にシカが分布してきた地域の手法を踏襲できるため、それらに上乗せする形でこの地域にあったモニタリング手法を確立していく必要がある。



写真1 発見されたシカの糞塊



写真2 ライトセンサス調査の様子